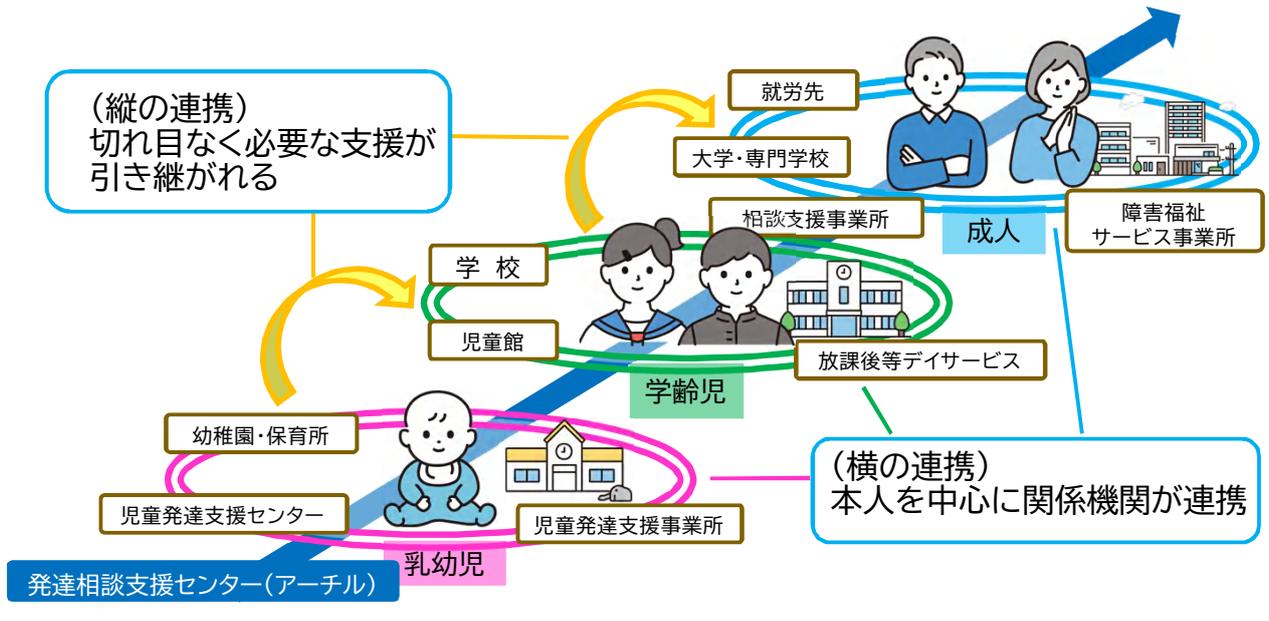
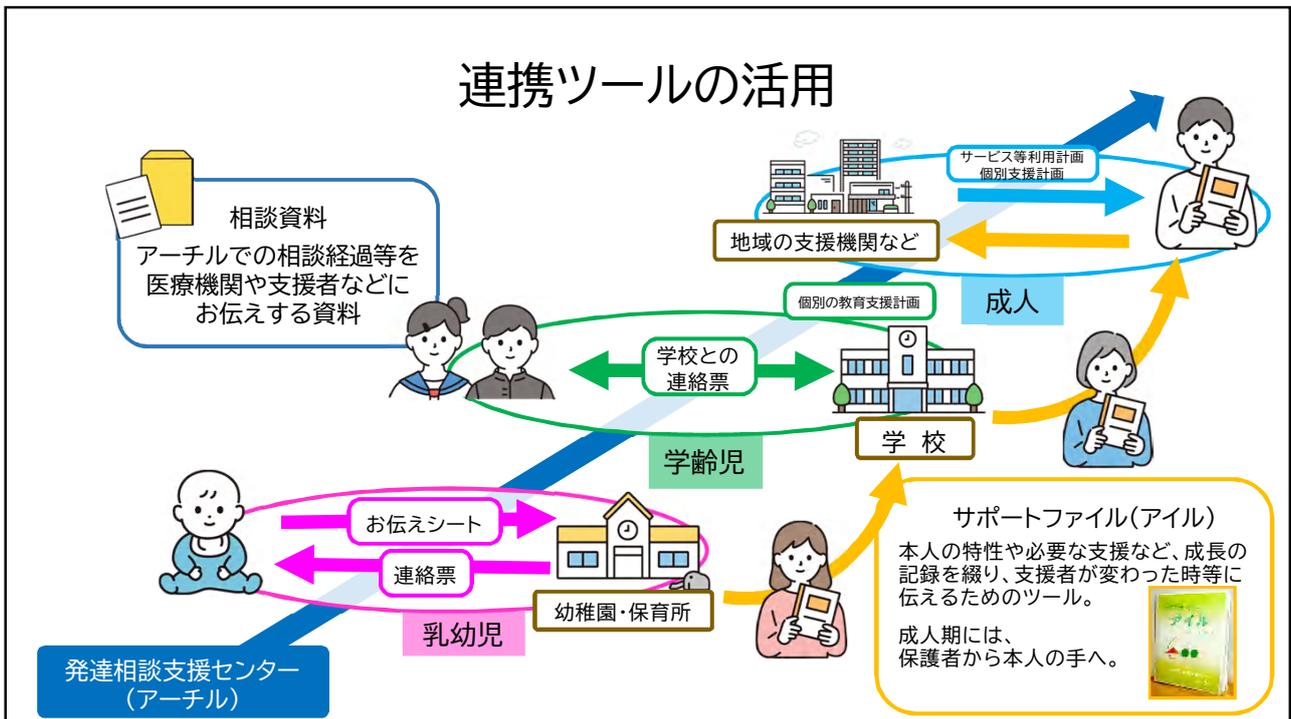


3 地域での発達支援充実に向けた関係機関との連携 ～「育ち」と「暮らし」を支えるために～

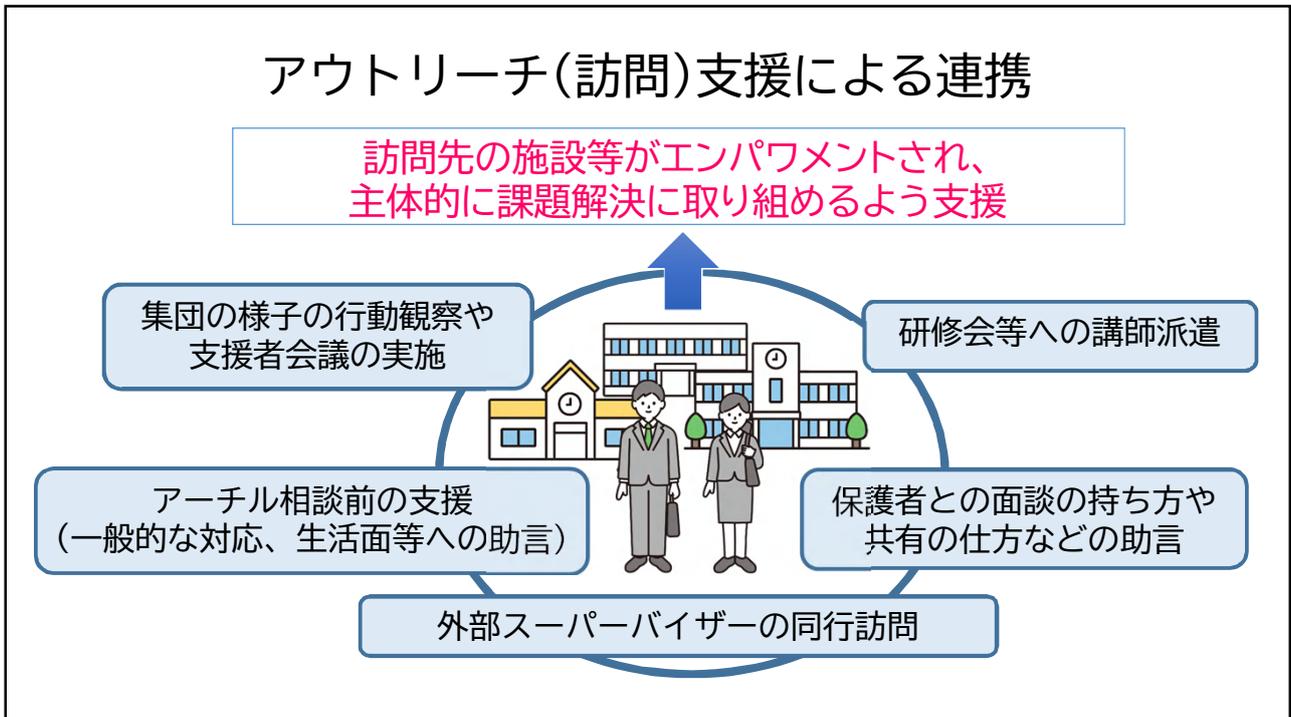
縦と横の連携で支える「育ち」と「暮らし」



連携ツールの活用



アウトリーチ(訪問)支援による連携



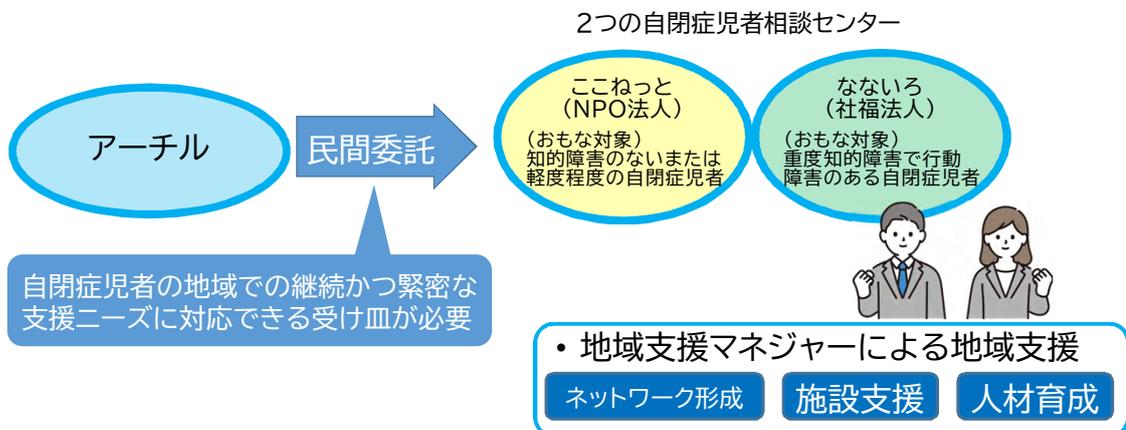
アウトリーチ支援の実践から

- ・個別事例の相談に止まらず、施設の管理職とも支援の視点を共有できたことで、施設全体で同じような困り感のある方にノウハウを活かした支援を行えるようになった。
- ・訪問先の地域のネットワーク会議に参加。事例検討や研修会の実施等により、より幅広く関係機関同士が支援の視点等を共有することができた。
- ・施設が本人の発達のニーズや必要な支援を家族と共有することができた。



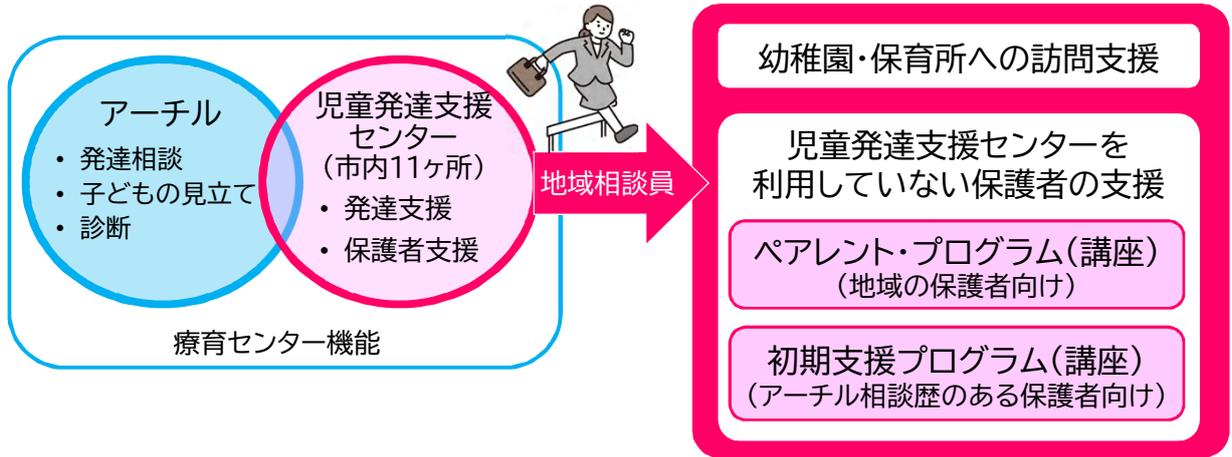
民間の強みやネットワークと連携・協働することで、より幅広いニーズに対応した相談支援・地域連携を目指して ①

自閉症児者相談センター「発達障害者地域支援マネジャー」



民間の強みやネットワークと連携・協働することで、
より幅広いニーズに対応した相談支援・地域連携を目指して ②

児童発達支援センター「地域相談員」

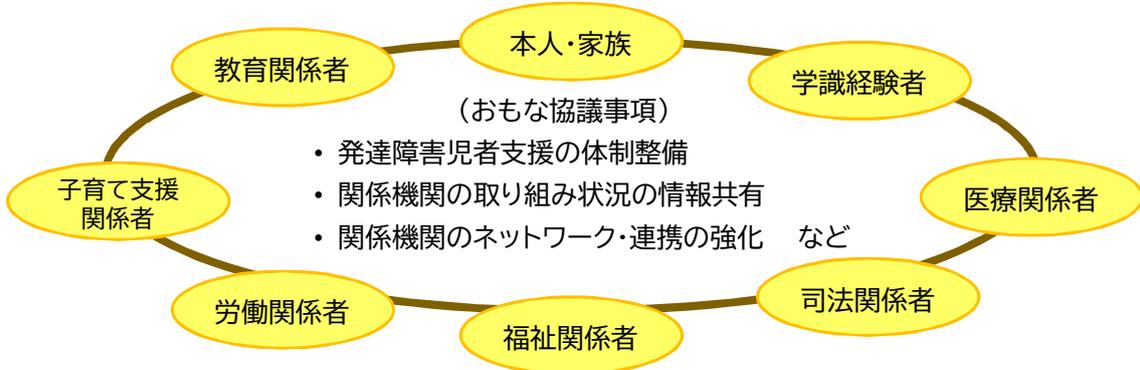


民間の強みやネットワークと連携・協働することで、
より幅広いニーズに対応した相談支援・地域連携を目指して ③

地域の様々な担い手とともに



発達障害者支援地域協議会



(令和3～5年度の協議テーマ)

「成人期の自立を実現するために必要な
支援やネットワークのあり方について」

報告書はこちらの
QRコードから ⇒
(仙台市ホームページ)



まとめ：「その人らしく暮らせる」 地域社会の実現に向けて

